

感染予防のための学校休業日や、自宅での自粛生活という本当に苦しい3ヵ月間の努力により、新型コロナウイルスの感染者数は減少の方向へ向かっています。国の緊急事態宣言の解除をうけ、山県市教育委員会は6月1日からの学校再開を決定しました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の脅威がなくなったわけではありません。現在の学校において、感染のリスクをゼロにするということは不可能です。大切なことは、**感染症対策の考え方を正しく理解して現状に慢心せず、新型コロナウイルス感染症を正しく恐れて、集団感染のリスクを極力下げていく**ことです。富岡小学校では、**常に安全への対応を評価し、随時修正を加えて安全性を高めていく**ことを、全教職員で共通理解しました。

皆が安心できる安全な学校生活をめざして、次のような感染対策を行います。

- ・2週間の間、学級を分団ごとに2分割して、午前と午後の分散登校を行い、20人以下で生活する。
- ・分団登校は『1年生のペースでゆっくりと、1列でおしゃべりをひかえて、1メートルの間隔をあけて、先の班を優先』させる。
- ・ネットによる児童健康観察により、登校前に健康状態を把握し、体調不良の児童との接点をなくす。
- ・登校時、玄関において全児童の手指を消毒用アルコールで消毒する。
- ・緊急対応室を設置し、発熱など体調不良が見られた場合の待機場所をつくる。
- ・飛沫感染を防ぐために、座席を市松模様状に配置し、児童間に1.5m以上の間隔をとる。
- ・教室の窓と扉は常時開放し、通気性の向上を図る。
- ・気候・気温に応じて、換気をしながらエアコン・扇風機を稼働させ、児童の体調管理に配慮する。
- ・水道には石鹸、教室には消毒用アルコール、貸出用マスクを常備し、衛生環境を整える。
- ・屋外から教室へ戻る際は、3密状態を避けて順番にうがいをする。
- ・子供の触れる部分（ドアノブ、手すり、電気のスイッチ等）は日に4回、教職員による消毒液清掃を実施する。
- ・授業は、学習内容を十分考慮し、3密状態を回避した学習形態で行う。

教職員は、お子さんの健康観察同様に出勤前の検温と入力を義務化しており、体調不良の状態での出勤は認められません。皆、元気に勤務していますが、目に見えないのが新型コロナウイルスです。職員室の3密を防ぐために、交代で在宅勤務を実施するとともに、飛沫感染防止シートを設置しました。**全ての学校生活・教育活動において、3密の回避に取り組み、お子さんの指導に当たります。**

安心できる学校生活の実現には、心のケアも欠かせません。家庭生活調査では、学力や体力の低下とともに、学校再開に対するご不安が多い実態がありました。これを深く受けとめて、本日、お子さんに心のアンケートを実施しました。今後も実態把握に取り組み、必要に応じて教育相談を行います。

今こそ、学校、家庭、地域が、心をひとつにすることで、コロナと共存しながらも、安心して生活できる学校づくりに取り組んでいきたいと思っております。どうぞ、よろしく願いいたします。

山県市を通して、エーエスジャパン社 上山様、田中繊維社 田中様より不織布マスクをご寄付いただきました。一人につき10枚、国からのマスクを加えて計11枚を配付しましたのでご活用ください。